



コバノガマズミ

ガマズミ科 ガマズミ属 *Viburnum erosum* 日本固有種

鱗芽 芽鱗は4枚
卵形先端はとがる
星状毛がある
内側の芽鱗には白毛がある

外側2枚の芽鱗が短く、茶色がある
冬芽は対生
葉痕はV字形
3つ 維管束痕はV字形
皮目はだ円形

短枝は細く星状毛が多い

花 散房花序、花冠から雄しべが出る
4-5月開花

タカノツメ

ウラボシ科 タカノツメ属 *Gamblea innovans* 日本固有種

鱗芽 芽鱗は5-8枚
頂芽は卵形、内側に鱗毛がある
先は緑がかる
頂芽は四角錐形で短い側芽より大きい

頂芽の断面
5-10mm
維管束痕はV字形
互生
側芽は対生
た円形
短枝が発達する
長枝

葉 花は雌雄別株、葉は3出複葉、若葉は山菜秋に黄葉する

花は雌雄別株、葉は3出複葉、若葉は山菜秋に黄葉する

ノリウツギ

アジサイ科 アジサイ属 *Hydrangea paniculata*

鱗芽 芽鱗は4-6枚
頂芽は四角錐形で短い側芽より大きい
芽鱗の先は尖る
頂生側芽を伴う

皮目は縦長
表皮は剥がれる

葉痕はV字~三角形
維管束痕は3つで突出する

花 両性花のまわりに装飾花がつく

冬芽を冬楽しむもう2

冬芽に注目しはじめると、それまで意識の向かなかった「ただの枝」が生き生きとした個性に見えてきます。小さな芽のなかに葉や花が待機していると思うとワクワクしませんか？

タラノキ

ウラボシ科 タラノキ属 *Aralia elata*

鱗芽 芽鱗は3-4枚
頂芽は大きい円錐形で無毛
頂芽のトゲはねる

葉痕はV字~U字形で枝をほぼ3/4周する
維管束痕は30-40個
皮目はだ円形で多い
側芽

花 雌雄同株、上部に両性花、下部に雄花をつけることが多い、両性花は雄性先熟

1年枝はとも太い粗毛が多い
髄は太い

これも冬芽？冬芽にそっくりな昆虫

アラカシの冬芽の隙間に入り込み、冬芽の一員のような顔をしているのはカギバオオシヤクという名の蛾の幼虫です。当人(虫)はそのつもりはないのでしょうけど、鱗模様や形が冬芽に酷似するかなりハイレベルな擬態です。これなら天敵に見つかることなく春を迎えることができそうです。

【参考文献】「環境 Eco 選書 冬芽と環境」八田洋章編(北隆館)、「冬の樹木」村田源監修 平野弘二著(保育社)、「冬芽でわかる落葉樹419種の検索改訂版」馬場多久男著 亀山章監修(信濃毎日新聞社)「樹木の冬芽図鑑」菱山忠三郎著(主婦の友社)「冬芽ハンドブック」広沢毅解説 林将之写真(文一総合出版)「樹木の葉」林将之著(山と溪谷社)、「樹に咲く花 離弁花1」茂木透写真、石井英美、岡尾均、吉山寛ほか解説(山と溪谷社)、「樹に咲く花 離弁花2」茂木透写真、太田和夫、勝山輝男、高橋秀男ほか解説(山と溪谷社)「樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物」茂木透写真、城川四郎、高橋秀男、中川重年ほか解説(山と溪谷社)

【写真】 瀬下亜希 □印のついた写真: 静岡県立森林公園
撮影地: すべて静岡県立森林公園園内

ウツギ

アジサイ科 ウツギ属 *Deutzia crenata*

鱗芽 芽鱗は8-10枚
冬芽は先のとがった長卵形で4稜
星状毛が散生
芽鱗は褐色

ふつう
2つ頂芽を伴う
皮褐色は1年枝は赤い褐色
皮目は赤い褐色

花 雄しべ花糸の両側に翼がつく

グロバヤ

ハイノキ科 ハイノキ属 *Symplocos prunifolia*
別名: ソメシバ
別名は灰汁を媒染剤としたことに由来

苞芽
約5mm
葉芽は先がとがる
花芽は球状で球状につく
細長い葉は先がとがる
枝は紫褐色で無毛、稜がある

花 前年枝の葉腋に総状花序がつく
4-5月開花

ビジターセンター パードピア浜北
自然情報の発信、自然体験プログラムなどを通じて、静岡県立森林公園の自然の魅力を発信しています。
■入館料: 無料
■開館時間: 9:00~16:30
■休館日: 毎週水曜(祝日の場合は翌日)と年末年始(12/29~1/3)

木工体験館
気軽に木工を楽しむことができます。工具はそろっているので、手ぶらでお立ち寄りください。
■木工: 金・土・日
■開館時間: 9:00~16:30 初回利用時に「初心者利用講習」受講が必要です。
■休館日: 月・火・水と年末年始(12/29~1/3)
■問合せ: ☎053-583-1559

エゴノキ

エゴノキ科 エゴノキ属 *Syrax japonicus*
別名: チシヤノキ, ロククロキ

先端が尖り気味の長円形で星状毛が密生
仮頂芽

1 ~ 3mm

主芽の下に予備芽がある

側芽は枝に沿うようにつく(伏生)

葉痕は小さく半円形 維管束痕は隆起し、弧状で1つ

枝はジグザク 冬芽は互生

花 新枝の先に花をつける 5-6月開花

花 両性で総状につく 6-8月開花

新枝の出る様子

髓は細い

リョウブ

リョウブ科 リョウブ属 *Clethra barbinervis*
別名: ハタモリ (油桐)

大頂芽は 3 ~ 7mm

側芽

葉痕は三角形 枝先に集まる 1つ

冬芽は枝にらせん状につく 髓は太い

鱗芽から裸芽へ 2-3枚の芽鱗がはがれ落ち、裸芽になる

毛が密生する芽鱗は傘のように開き落ちやすい

裸芽は枝につく 芽鱗がなくなると頂芽

花 両性で総状につく 6-8月開花

鹿の角のような枝ぶり

ネジキ

ツツジ科 ネジキ属 *Lyonia ovalifolia*
別名: カンオシロ

仮頂芽は 5 ~ 7mm

側芽は 小さめ

葉痕は半円形 維管束痕は弧状で1つ

一年枝は鮮やかな赤色が綺麗に並ぶ「三大美芽」のひとつ

冬芽は互生

花 前年枝の葉腋に総状花序がつく 5-7月開花

枝が3本ほど 短毛がある

カインサンサラサドウダン

ミカン科 ドウタン属 *Enkianthus sikokianus*
愛知県、三重県、和歌山県、四国の太平洋側に分布

頂芽は 1つ 短毛がある

短枝

花 花柄や花序軸に縮れた毛がある 5-6月開花

長枝に穂がある

枝が3本ほど 短毛がある

マルバアオダモ

モクセイ科 トネリコ属 *Fraxinus sieboldiana* Blume.
別名: ホソバアオダモ

頂芽は1つ 四角錐形 卵形

側芽

葉痕は半円形 維管束痕はU字1ヶ所

冬芽は対生

花 雌雄別株 4-5月開花 雄花と両性花

冬芽の縦断面 横断面

花序が中心にある

1年枝は 灰褐色で無毛

小さい皮目が 多い

頂芽の両脇に小さい頂生側芽がつく

芽鱗に粉状の毛がある

芽鱗は2-4枚

ヤブムラサキ

シソ科 ムラサキ属 *Callicarpa mollis*

頂芽は 4 ~ 6mm

側芽は 側芽より大きい

葉痕は 円形~半円形 維管束痕は1つ 突出する

花 葉腋から集散花序が出る 6-7月開花

全体に星状毛が密生する

太い果柄は 冬も残ることが多い (ムラサキシキブの果柄は細い)

芽柄

裸芽 2枚の葉が向き合う

側芽は対生し小さい (ムラサキシキブより丸みをおひる)

髓は太い

クサギ

シソ科 クサギ属 *Clerodendrum trichotomum*

頂芽は 1 ~ 3mm

側芽は 丸みのある 対生する

葉痕は 隆起する 円形~ハート形 維管束痕は7-9個がU字形に並ぶ

花 集散花序、香がある 7-9月開花

実 4つの核が合着し 球形の核果をなす

赤紫色の縮れた毛が密生する

1年枝は 柔らかい毛が密生

断面はほぼ 四角形 髓は太い

髓は隔壁髓 (均等に隔壁がある)

冬芽のタイプ

冬芽のタイプ

鱗芽

多くの芽鱗が互状に重なる 最も外側の芽鱗は最小

裸芽

幼葉がそのまま 茎頂を守る

苞芽

茎の最上部の葉が芽頂を守る 芽吹くときには落ちる

多くの葉面が毛で覆われる 隙間に空気をためて断熱すると考えられる

芽を覆う最も外側の高出葉が最大 東アジアにおける北限域の常緑広葉樹